

| | | |
|---|--|--|
| <p>南浜中たより</p>  |  | <p>【教育目標】 深く考え 心豊かに 実践する生徒 令和2年3月18日(水) No. 14 新潟市立南浜中学校 校長 坂井 孝</p> |
|---|--|--|



3月4日(水)に、第73回卒業証書授与式を挙行了しました。折からの新型コロナウイルス感染症の対策のため、規模を縮小し時間を短縮しての卒業式でしたが、無事卒業式を終えることができました。

突然3月2日(月)からの臨時休校が決まり、急遽2月28日(金)に予行練習、式準備を行い3月4日の当日を迎えることになりました。全体での練習は1回だけでしたが、本番では例年に負けず劣らず立派に卒業式を行うことができましたと思います。

送辞では、新生徒会副会長の浅井真優さんが、卒業生の業績をたたえ感謝の言葉を述べました。そして、「栄光の架け橋」の歌詞になぞらえ、卒業生の新しい未来にエールを送りました。

答辞では生徒会長の小熊楓也さん(写真右)が、三年間の思い出を振り返り、仲間、先生方、保護者、地域の皆さんへの感謝の言葉を熱く語りました。そして、これからの人生を旅にたとえ、「道の辺に 清水流るる 柳かげしばしとてこそ 立ち止まりつれ」という3年時に学習した和歌を紹介し、長い人生の中では時に休むこともあり、それはそれで、新たな発見がある、これからの人生を、自分を信じ仲間を信じ、感謝を忘れずに前に進んでいきたいと結びました。

式のあと玄関前では、在校生から卒業生へ、卒業生から在校生にそれぞれエールが送られ、別れを惜しんでいました。例年とは違った形の卒業式でしたが、心温まる、卒業生の輝ける未来につながる卒業式だったと思います。



式 辞 (抜粋)

新型コロナウイルス感染症の対策により、3月2日より臨時休校を余儀なくされましたが、本日、規模を縮小しながらも、ご来賓、保護者の皆様のご列席を得て、第七十三回卒業証書授与式を挙げてまいりますことに深く感謝を申し上げます。

卒業生の皆さんは、正に南浜中学校の顔として、南浜中1UPプロジェクトに大きく貢献してくれました。生徒会を中心に行ったあいさつ向上の取組により、あいさつが格段に向上しました。このことは地域の方々からも評価されました。また、体育祭では、「生徒主体の体育祭」を目指し、名称を「海鷹祭」とし、第1回海鷹祭を自分たちのアイディアと行動で成功させました。文化祭では、南浜地区の将来を考え、地域の方々のご指導をいただきながら自分たちのアイディアや提案をわかりやすく発表しました。部活動でも高い目標を持って熱心に活動し、サッカー部が県大会3位、陸上部も五種目四名が県大会に出場しました。このように卒業生の皆さんは素晴らしい実績を残し、南浜中学校の新たな伝統を築き上げました。

さて、卒業生の皆さんは、この先、自分で考え自分が選んだ道を生きていかなければなりません。そこには夢や希望と同時に責任と困難が待ち構えています。そこで、予測が難しいこれからの社会をよりよく生きぬくため、卒業生へ三つのことをはなむけとして送りたいと思います。

一つ目は、真偽を見極める感性と判断力を身に付けることです。情報が正しいのかあるいはデタラメなのかを見極める能力はとても重要です。真偽を見極める感性と判断力を身に付けるには、何よりも正しい生活習慣が重要だということです。では、正しい生活習慣とは何でしょう。その基本は中学校で行っていた三点固定をはじめとする時間管理や、やるべきことを常にやり切ることだと思っています。


二つ目は、アップデートとバージョンアップです。常に自分の知識や経験をアップデートし、時には時代の変化を見て大きく自分を変えていく、自分自身のバージョンアップも必要になってきます。別の言葉で言えば「学習する姿勢を持ち続ける」ということです。その際考えてほしいことは、「不易と流行」という言葉です。社会がいかに進歩しようと変えてはならない、基本原則があると思うのです。その基本とは、たとえば、「仁」、人を大切に慈しむ心、「義」道徳や倫理にかなった行い、礼節などです。今風にいえば、人権や自由、平和、公正などで、これらは変わるものではありません。それらを大切にしつつ、新しいことを取り入れ学習していく、そんなスタイルが重要だと思っています。

三つ目は「有り難い」ということです。これは、今年の全校朝会でも話をしましたが、本来あなたがこの世に存在することが難しい、あなたは、奇跡の人だということです。それも、一回しか命は与えられないのです。だからこそ、自分の命を大切にしたい、自分の存在を大切にしたい、一回限りの人生をよりよく生きてほしいと思っています。常に感謝の心を持ち、世のため人のために自分を活かしていくことが何よりも大切です。

さて、保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。これからは、少し大人になったお子様が、新たな世界で自分で考え、主体的な行動で未来を切り開いて行こうとしています。今までよりは少し離れたところからはなるとはありますが、どうかこれまでと同様に優しく、時には厳しく見守っていただければと思います。今日までのご家庭での教育に敬意を表すると共に、これまで当校の教育活動に多大なるご支援・ご協力いただきましたことに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。大変ありがとうございました。

また、地域の皆様には、卒業生がいろいろな場面で大変お世話になりました。皆様方のご支援、ご協力のお陰をもちまして、卒業生は立派に成長いたしました。高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

結びに、卒業生並びにご臨席賜りましたすべて皆様のますますのご発展とご健勝をお祈りし、式辞といたします。



卒業式の翌日から、2日間にわたり公立高校の一般入試が行われました。当校でも多くの卒業生が受検しましたが、大きなトラブルもなく無事終了しました。3月13日には合格発表があり、その結果2次募集にまわる卒業生はおらず、全員の進路が決まりました。4月からは新しいステージで存分に力を発揮し、自分の夢の実現に邁進してほしいと思います。